

SUPER 11 ③ 語彙に強くなる特別ゼミ

【1】接頭辞問題(1～2)

(1) 接頭辞 ante- の表す意味として最も適切なものを①～④から1つ選びなさい。

- ① 前に ② 後ろに ③ 外へ ④ 共に

antedate・antecedent・antenna・*antemeridian・*anteroom

(2) 接頭辞 sym- の表す意味として最も適切なものを①～④から1つ選びなさい。

- ① 分離して ② 共に ③ 上へ ④ 下へ

sympathy・symphony・symmetry・*symbiosis・symptom

【2】語尾・品詞問題(3～4)

(3) -al で終わる語の品詞は何か。

例:natural, personal, cultural, global, formal

(4) -ity で終わる語の品詞は何か。

例:ability, activity, reality, quality, difficulty

【3】語源問題(5～9)

(5) 語源 term の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 境界・限界 ② 愛する ③ 運ぶ ④ 引く

determine・terminate・terminal・term・*interminable

(6) 語源 vis の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 見る ② 持つ ③ 作る ④ 投げる

visible・vision・visit・revise・visual

(7) 語源 lev の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 書く ② 軽い・持ち上げる ③ 歩く ④ 聞く

elevate・elevator・level・leverage・levitate

(8) 語源 scend の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 登る ② 切る ③ 運ぶ ④ 回る

ascend・descend・transcend・condescend・ascent

(9) 語源 cede / ceed / cess の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 行く ② 見る ③ 保つ ④ 数える

proceed・succeed・exceed・recede・concede

【4】多義語・品詞問題(10～11)

(10) whatever の語の主な使い方(品詞)を答えなさい。

whatever()()()

(11) down の語の主な使い方(品詞)を答えなさい。

down()()()

解答

解答解説

(1) ① 前に (2) ② 共に (3) 形容詞 (4) 名詞 (5) 動詞 (6) ① 見る (7) ② 軽い・持ち上げる
(8) ① 登る (9) ① 行く (10) 代名詞・接続詞 (11) 副詞・前置詞・形容詞

解答解説

(1) ante- :① 前に

解説: ante- は「前に」「先に」を表す接頭辞。

antecedent[əntɪsɪːdənt]「先行するもの」= ante(前に) + ced(行く) → 前に行くもの / anteroom[æntɪrʊːm]「控室」= 本室の前の部屋 / antedate[əntɪdeɪt]「先行する」= 日付が前になる / anterior[æntɪəriə]「前方の」 / antenatal[æntɪneɪtəl]「出生前の」 / antediluvian[əntɪdɪlʊːviən]「大洪水以前の」。語源のイメージは一貫して「前に」である。

(2) sym- :② 共に

解説: sym- は syn- の異形で、「共に」「一緒に」を表す接頭辞。

sympathy[sɪmpəθi]「同情」= 共に感じる / symphony[sɪmfəni]「交響曲」= 音が共に鳴ること / symbol[sɪmbəl]「象徴」= 共に投げられた印 / symmetry[sɪmətri]「対称」= 共に測られた状態 / symposium[sɪmpóuziəm]「討論会」= 共に飲みながら語る会 / synchronize[sɪŋkrənaɪz]「同時にする」= 時間を共にする。語源の中心は「共に」である。

(3) -al :形容詞

解説: -al は「～に関する」「～の性質をもつ」を表す形容詞語尾。

natural[nætʃərəl]「自然の」 / personal[pɜːsənəl]「個人の」 / cultural[kʌltʃərəl]「文化の」 / global[glɒbəl]「世界的な」 / formal[fɔːmə]「正式な」 / local[lókəl]「地方の」 / medical[médikəl]「医学の」。-al=形容詞と判断できる。

(4) -ity :名詞

解説: -ity は「性質」「状態」を表す名詞語尾。

ability[əbɪləti]「能力」 / activity[æktɪvəti]「活動」 / reality[riələti]「現実」 / quality[kwɒləti]「質」 / difficulty[dɪfɪkəlti]「困難」 / possibility[pɒsəbɪləti]「可能性」 / nationality[næʃənələti]「国籍」。-ity=名詞は頻出の品詞問題である。

(5) term :① 境界・限界

解説: term は boundary「境界・限界・終点」を表す語源。もともとは「区切られた境界」を意味し、そこから「期間」「専門用語」などの意味へ発展した。

term[tɜːm]「期間・学期・用語」= 区切られた期間・意味の境界 / terminal[tɜːrmənəl]「終点の・終末の」= term(終点・限界) + al → 境界・終点にある / terminate[tɜːrmənəɪt]「終える・終了する」= term(限界) + inate → 限界に達する / terminus[tɜːrmənəs]「終点・終着駅」= 終わりの地点 / determine[dɪtɜːrmən]「決定する」= de(完全に) + termine(境界を定める) → はっきり境界を決める / indeterminate[ɪndɪtɜːrmənət]「不確定な」= in(否定) + determinate(境界が定まった) → 境界が定まっていない。すべて「境界・限界・終点」のイメージで説明できる。

(6) vis :① 見る

解説: vis は see「見る」を表す語源。

visible[vɪzəbl]「見える」= 見ることができる / vision[vɪʒən]「視覚・未来像」= 見ること / revise[rɪvaɪz]「見直す」= 再び見る / supervise[sú:pəvəɪz]「監督する」= 上から見る / visit[vɪzɪt]「訪問する」= 会いに行き見て

る / invisible[invizəbl]「見えない」。語源の核は「見る」である。

(7) lev :② 軽い・持ち上げる

解説:lev は light「軽い」, lift「持ち上げる」を表す語源。

elevator[éliveitə]「エレベーター」= 持ち上げるもの / elevate[éliveit]「高める」= 持ち上げる / level[lévəl]「水平な」= 軽く平らな状態 / leverage[lí:vəridʒ]「てこの作用」= 持ち上げる力 / relieve[rilí:v]「軽減する」= 軽くする / levitate[léviteit]「空中に浮く」。共通イメージは「軽い・持ち上げる」である。

(8) scend :① 登る

解説: scend はラテン語 scandere「登る」に由来する語源である。

ascend[əsénd]「上昇する」= 上へ登る / descend[disénd]「下降する」= 下へ登る / transcend[trænsénd]「超越する」= 越えて登る / condescend[kàndisénd]「へりくだる」= 自ら下りる / ascent[əsént]「上昇」 / descendant[diséndənt]「子孫」= 世代を下って続く者。

(9) cede / ceed / cess :① 行く

解説:cede / ceed / cess は go「行く」を表す語源。

proceed[prəsi:d]「前進する」= 前へ行く / succeed[səksí:d]「成功する」= 後について行く / exceed[iksí:d]「超える」= 外へ行く / precede[prisí:d]「先行する」= 前に行く / access[ækses]「接近・利用」= 近づいて行く

/ process[próuses]「過程」= 前へ進むこと。語源の核は「行く」である。

(10) whatever :代名詞・接続詞・副詞

解説:whatever は、代名詞・接続詞・副詞として使われる重要語である。

Whatever you want is fine.(あなたが欲しいものなら何でもよい。)では代名詞で、「何でも～するもの」を表す。Whatever happens, I will help you.(何が起ころうとも、私はあなたを助ける。)では接続詞で、「何が～しても」という譲歩を表す。There is no doubt whatever about his honesty.(彼が正直であることには、少しの疑いもない。)

では副詞で、no+名詞+whatever の形をとり、「少しも～ない」「いかなる～もない」という強い否定を表す。whatever は名詞の後ろに置かれ、否定の意味を強める。whatever は、代名詞・接続詞としての用法に加え、no+名詞+whatever の副詞用法も入試で問われるため、区別して覚えることが重要である。

(11) down :副詞・前置詞・形容詞

解説:down は副詞・前置詞・形容詞として使われる。

Sit down.(座りなさい)では副詞で「下へ」。He walked down the street.(彼は通りを下って歩いた)では前置詞で「～に沿って下へ」。The computer is down.(そのコンピューターは停止している)では形容詞で「故障している」。また、feel down(落ち込んでいる)のような表現も頻出である。